

# Avastin療法【90分】

【外科】142【乳癌】

(第 コース目)

\*網かけ部分は必須記入事項

診療科:	病棟:
医師名:	印

身長:	cm	体重:	kg
体表面積:	m <sup>2</sup>	Cr:	mg/dL

■レジメン 下記が1コースの投与スケジュール : 2週ごとを1コースとする

Day	1	8	~14
施行日	/	/	
アバステン	↓	休業	

■投与順序 ※マークは同タイミング投与薬あり

滴下順													
①	<table border="1"> <tr> <td>生食 50mL</td> <td>10分</td> </tr> <tr> <td>↓</td> <td></td> </tr> <tr> <td>●アバステン注【     】mg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生食 100mL</td> <td>1時間30分</td> </tr> <tr> <td>↓</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生食 50mL</td> <td>10分フラッシュ</td> </tr> </table>	生食 50mL	10分	↓		●アバステン注【     】mg		生食 100mL	1時間30分	↓		生食 50mL	10分フラッシュ
生食 50mL	10分												
↓													
●アバステン注【     】mg													
生食 100mL	1時間30分												
↓													
生食 50mL	10分フラッシュ												
②													
③													

■投与量 ※投与量の参考

薬剤名	標準投与量
アバステン注	10mg/kg

■注意・確認事項

- アバステンは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目の投与は60分間で行っても良い。
- 2回目の投与においても忍容性が良好であれば、それ以降の投与は30分間投与とすることができる。
- アバステンとブドウ糖溶液を混合した場合、アバステンの力価の減弱が生じるおそれがあるため、ブドウ糖溶液との混合を避け、アバステンとブドウ糖溶液の同じ点滴ラインを用いた同時投与は行わないこと。

入力 薬剤師	看護師	看護師